

～簡素で効率的な行政運営をめざして～

4月から市の組織を改正します

組織改正の主な内容をお知らせします

新たな行政課題に
的確に対応できる
組織に

簡素で効率的な
組織に

子ども課、危機管理室
を設置します。

○子育て支援の充実のため、保健福祉部児童福祉課で所管していた業務を教育委員会へ委任し、子ども課を設置します。

子ども課には、児童の福祉、家庭児童相談等、子育て支援の窓口となる「子育て支援」と、保育園への入園・退園等の窓口となる「保育」の2担当を設置します。

○東海地震などの大規模な自然災害や人的災害、および様々な危機に備えるとともに、発生時の迅速な対応のため、危機管理室を設置します。危機管理室には、防災および災害対策、国民保護法による国民保護計画の策定、その他の危機管理等に当たる「防災危機管理」担当を設置します。

庁内の意思決定や事務処理の迅速化、組織運営の流動化、環境変化への柔軟、弾力的対応、職員減による人件費の削減等に向けて、部課等の統廃合を行います。

〈部について〉

○企画部と総務部は総務部に、生活環境部と保健福祉部は福祉環境部に、建設部と水道部は建設水道部に統合します。

消防部は廃止、総務部消防課とします。

〈課等について〉

○行政改革推進室、地域振興課、児童福祉課、区画整理課は廃止します。

○和楽荘は民営化します。

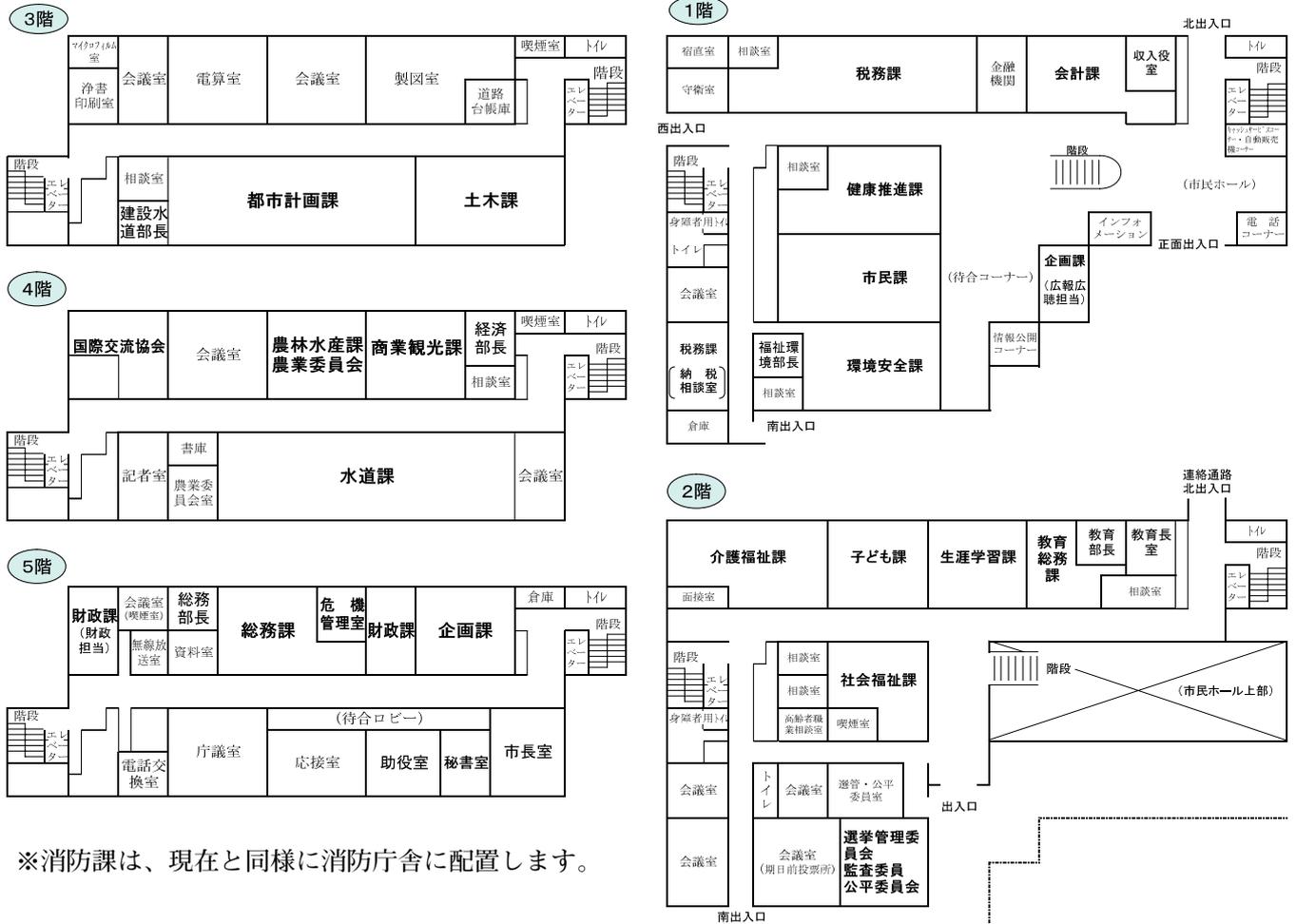
○水道管理課と水道施設課は水道課に統合します。

○土木公園課は土木課に、

教育委員会の学校教育課は教育総務課に、生涯学習企画課は生涯学習課に

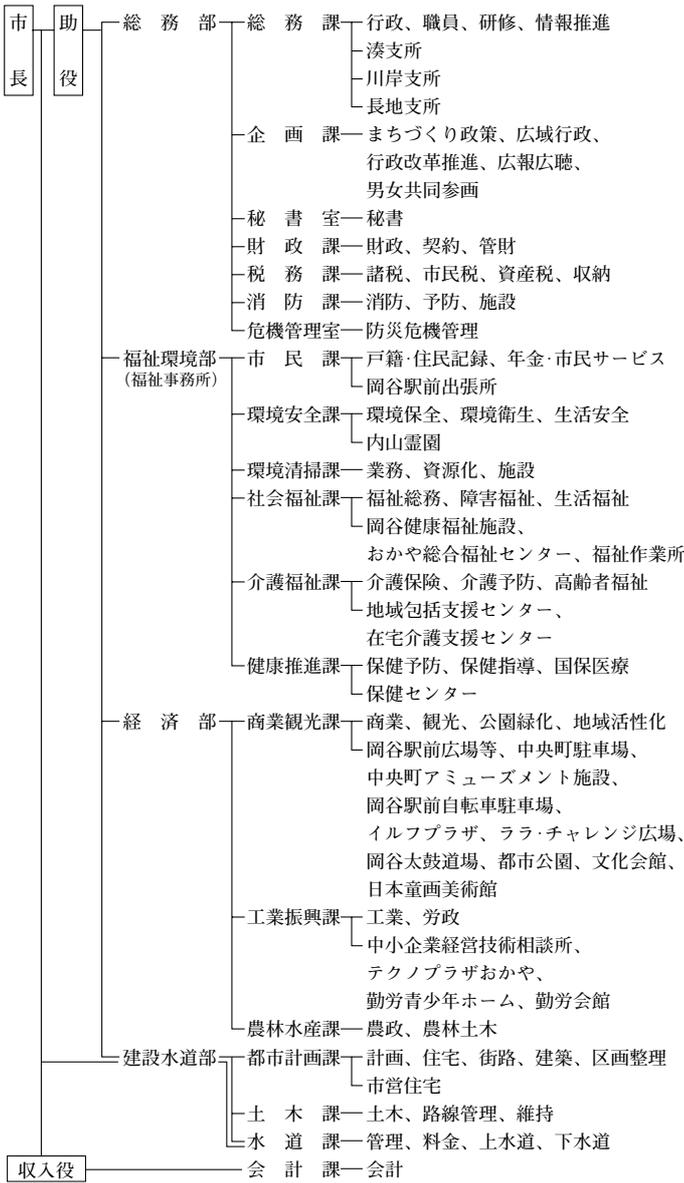
名称を変更します。

新しい部課の配置予定図【略図】（4月から）



※消防課は、現在と同様に消防庁舎に配置します。

市の新しい組織図



組織の改正に伴い、担当(窓口、業務)が変更になります

○地域振興課を廃止することによって、まちづくり防災担当が行っていた業務は、危機管理室に移るほか、次のとおり変更になります。

- ・ 区長会、コミュニティ、地縁による団体、市民憲章推進に関することは、総務課「行政」で担当します。
- ・ NPO活動およびボランティア活動の推進に関することは、企画課「まちづくり政策」で担当します。
- ・ 文化会館(カノラホール)、日本童画美術館(イルフ童画館)に関することは、商業観光課に新たに

設置する「地域活性化」で担当します。

○母子福祉・母子相談は、児童福祉課の児童担当から社会福祉課の「生活福祉」に担当が変わります。

○介護保険法の改正により、介護福祉課に「地域包括支援センター」を設け、介護予防ケアマネジメント、介護保険の総合相談などの介護予防事業を実施します。また、在宅介護支援センターは、岡谷病院から介護福祉課に移ります。

○土木公園課の公園緑化担当は、商業観光課所管になります。

○教育委員会生涯学習企画課の男女共同企画担当は、企画課所管になります。

市役所のレイアウトを変更し、4月から新体制での業務を開始します

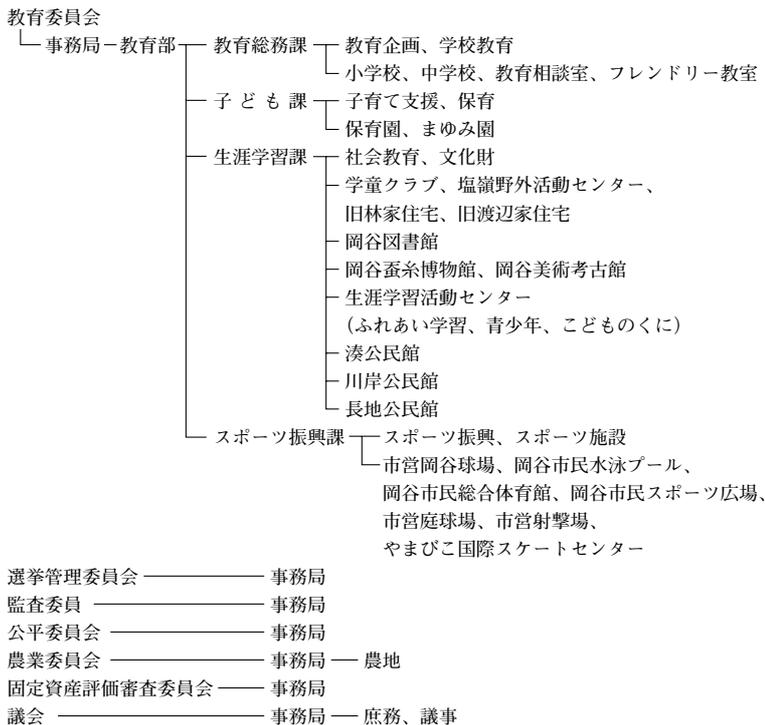
レイアウト変更工事(予算額1450万円)を行います。工事期間中(3月15月初旬予定)はご迷惑をおかけしますが、市民のみなさんご理解とご協力をお願いします。

○組織改正に伴い、市民のみなさん利用しやすく、分かりやすいように市役所のレイアウトを変更し、ローカウスターを設置する等、窓口の改善を行います。

○教育委員会を2階に、経済部を4階に配置します。

○以前から要望のありました「期日前投票所」の場所を変更します。また、「納税相談室」を設置します。

- ・ 期日前投票所を、2階西口駐車場から近い場所に配置し、選管・監査・公平委員会を2階に、国際交流協会は4階に配置します。
- ・ 納税者が相談しやすい環境を整備し、収納対策強化を図るため、納税相談室を保健センター寄りの1階に設置します。



ページ

だけの方、お子さんのス
話を募集しています!
課まで。

このごろようやく春の日差しを感じ
始めました。寒い日もまだありますが、
寒暖をくり返し、本当の春になってい
くそうです。春になったら外へ散歩に
出かけたいですね。

◎前回の答え(2/1)と当選者

問1-②651人 問2-③建築物
問3-①夜ふかし

正解総数19通(応募総数19通)の中から抽選で、武井
亜紗実さん(長地権現町1)、花岡満喜江さん(湊3)、
星野千枝子さん(川岸中3)、溝口慎治さん(長地小
萩1)、宮沢祐一さん(川岸東4)にオリジナルスプ
ーンをお送りします。

**あなたに
挑戦!**
No.244
広報クイズ

問1 小井川だるま堂で浄焼されたのは?

答え ①絵馬 ②人形
③古だるま

問2 4月から新しく岡谷市に設置され
るのは、子ども課と、もうひとつ
は何?

答え ①機器管理室 ②危機管理室
③危険管理室

問3 岡谷みやげ品は銘菓、みそ、〇〇、
シルクなどいろいろあります。

答え ①うなぎ ②うさぎ
③あなご

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号、ひと言を
書き、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)》ま
でお送りください。抽選で5名の方に武井武雄ラムラム王オリジナ
ルスプーンをお送りします。3月20日の消印まで有効。(ひと言は
15日号「みんなの声」に掲載させていただく場合があります)

市民しポーター だより

小平 陽子さんの
ものづくりレポート

テクノプラザおかや
ものづくりフェア2006へ

行ってきました!

岡谷駅並びにある近代的な建物、テクノプラザ。
普段個人ではなじみのない場所ですが、その存在が、
ビジネスチャンスにつながる場になっているよう
です。工業主幹の吉澤さんにお話を伺うと、特急を待
つ営業マンが立ち寄り、展示部品を見て新規の問
合わせをしたり、遠方に出していた加工が情報交換
によって、市内でできるようになる等、さまざまな
展開があるようです。

岡谷は小規模の事業所が多いにもかかわらず、粗
付加価値(出荷額から原材料使用額を引いた額)が

諏訪地方トップ。しかし、高い技術力がある反面、小規模会社の後継者不足が課題
との事。最近の若者の製造業離れも背後に見えます。

そこで、ものづくりフェアではビジネスサポーターだけでなく、市民にもものづくり
の楽しさを再認識してもらおう場として、盛りだくさんの企画がされています。

おなじみ、おもちゃの病院では岡谷工業高校の先生方がその場で修理してくれま
す。目の前で修理できるんだよ、という事を子どもにぜひ見せたいと思って持参し
たラジコンカーが、見事息を吹き返しました。一つひとつに想
いのあるおもちゃ。親もうれしくなります。

岡谷工業高校、東海大学第三高校、諏訪東京理科大
学の学生による研究発表も行われました。マイクを
片手に解説するという場は学生にとっても貴重な
経験です。

小学生向けの科学実験教室を楽しんで、次は、
好評の家電解体のコーナーへ。我が子も何時間も
その場から動きませんでした。ドライバーを片手
に嬉々として分解する大勢の子どもたちの姿を見て
いると、未来の技術者を育てて行く場としてテクノプ
ラザが一役かっているようです。



すごい!初めて見ました
家電の内部

ヤングナウ NOW YOUNG NOW

No.191

みんなの

一品料理を紹介していた
ナップ写真、また身近な
地域振興



「勝つとうれしいですから」

しむら ひとし
志村 仁さん

下諏訪町にお住まいで三
発條(株)にお勤めの志村仁さん。
Q **どんなお仕事を?**
A バネを生産する会社で営業
をしています。バネという
のはカタログに載るような
既製品はなく、用途に合わ
せて一品目ごとに設計しな
いといけないんです。顧客
と設計、仕様について打合
せをして、より良いものを
提案します。ここが難しい
けれど、面白いところだ
ね。こうして生産されたバ
ネはプリンターなどさまざ
まな製品にに使われます。
Q **なぜこのお仕事を?**
A この会社はスポーツに力を
入れている、弓道部をつく
れると聞いたのもきっかけ
のひとつですね。

Q **弓道はいつから?**
A 高校、大学、社会人になっ
てからと、ずっと続けてい
ます。昨年のおかやま国体
では弓道成年近的男子に長
野県代表として出場し、6
位入賞しました。
Q **志村さんの弓道は、
趣味の域を超えました。僕
は社会人になってから上達
したんです。今は試合に勝
ちたいので続けています。
やはり勝つとうれしいです
から。**
A **今後の夢は?**
A 国体で日本一になること
です。上位の選手はみんな上
手なので、的をはずしたチ
ームが負けなんです。プレ
ッシャーに勝てるかどうか
ですね。

Kia ora! Talofa Lava! Malo e lelei! Ni sa bula vinaka! Kia orana! Fakalofa lahi atu! Kam na Mauri! Taloha Ni!
(ニュージーランドでよく耳にする太平洋諸国各地のあいさつのことば)

国民の7割以上がヨーロッパ系であるニュージーランドは、かつてイギリスの植民地でした。それから60年後、完全に独立した現在は、「イギリス」との繋がりは強固なものでありながら、「南太平洋の国」としてのアイデンティティが形成されてきています。千年前は、先住民のマオリが星を頼りにカヌーで太平洋を航海してやって来て、この30年では、サモア、フィジー、トンガなどの国からの移民が急増しました。ニュージーランドのオークランドは世界で最大のポリネシア人の街とされていて、太平洋諸国の人たちは、オークランドの創造性、活気、多様性に大きく貢献しています。

この太平洋諸国の素晴らしい芸術、文化、生活様式を祝うために、「セレブレイト・パシフィカ」という

イベントが1993年にスタートされました。毎年3月に行われる「パシフィック・フェスティバル」をはじめとして42のイベント、ワークショップ、展示会などから構成されています。15年前は約3万人が「パシフィック・フェスティバル」に参加しましたが、現在は国内外の人に高く評価されていて、この1日のイベントのために21万人以上が、各地からオークランドに集まります。このフェスティバルでは現代的な芸術、伝統料理、ハンドクラフト、文化ステージなどを通して、誰でも太平洋諸国の文化に浸る機会が与えられます。

同じように日本各地では、日本人以外の人でも地域の多様性に貢献していますので、お互いの文化、習慣、価値観を理解するための機会があればぜひ、見逃さないでください。



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.17